

## ( 熊本県立高森高等 ) 学校 令和 7 年度 ( 2 0 2 5 年度 ) 学校評価表

|  |
|--|
| <b>1 学校教育目標</b>  |
| 地域社会と連携し、自然・文化・伝統を継承・発展させる活動に取り組み、高い意識をもって地域創生や地域貢献を担うグローバルな視点を持った、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 |
| <b>【学校経営目標】</b>  |
| (1) 幼保小中高連携による発展的な英語教育と I C T 特定推進校としての発展的な I C T 活用教育を実践する。                           |
| (2) クリエイトハイスクール指定校として地元自治体や企業等と連携・協働した探究的及び創造的な質の高い学びを実践する。                            |
| (3) マンガ学科の設置及び普通科グローバル探究コースの開設により、地域活性化策に連動した新たな学びによる特色化を図る。                           |

|  |
|--|
| <b>2 本年度の重点目標</b>                                |
| ・地元自治体や企業等と連携・協働した探究的創造的な質の高い学びを実践し、本校の魅力を更に高める。 |
| ・学校及び学科の特色を活かした教育活動を推進し、情報発信等を通じて本校の魅力を更に高める。    |

|                  |                        |   |   |   |
|------------------|------------------------|---|---|---|
| <b>3 自己評価総括表</b> |                        |   |   |   |
| <b>評 価 項 目</b>   |                        | <b>評価の観点</b>                            | <b>具体的目標</b>                              | <b>具体的方策</b>  |
| <b>大項目</b>       | <b>小 項 目</b>           |   |   |   |
| 学校経営             | 働き方改革を意識した業務改善に取り組む    | 持続可能な組織的な学校運営の構築                        | 各学期の業務振り返りを行い、課題を分析・検証し、改善案を提示する          | 学校行事や校務分掌の取組を振り返り、取組の検証や課題解決に向けた改善案の提示を、毎学期実施する   |
|                  | 本校の魅力発信に取り組む           | マンガ学科及び普通科グローバル探究コースの入学生確保のための組織的な取組の実践 | 本校の日常的な教育活動を SNS や特設スタジオの活用により、定期的に情報発信する | ○オープンスクール上級学校説明会において、高森町、コアミックス社、県教委と連携し生徒募集を行う<br>○TPCと連携し、校内スタジオを活用した、本校の魅力発信動画を作成し、情報発信を行う |
| 学力向上             | 生徒が自ら学びに向かう力を育む教育活動の研究 | 教科を超えた授業研究の体制づくり                        | 公開授業週間における校内の相互参観を充実させる                   | ○公開授業週間前に情報共有シートを作成し、参観のポイントを共有する<br>○公開授業週間のテーマを設定する<br>○公開授業週間中に研究授業を実施する                   |
|                  |                        | 観点別評価の充実                                | 本校の現状を把握したうえで、観点別評価の実施に向けて研究する            | ○観点別評価を実施するうえでの課題を把握し、評価の方法を改善する<br>○観点別評価の意義について研修等で理解を深める                                   |

|                         |                                    |  |   |   |
|-------------------------|------------------------------------|--|---|---|
| キャリア教育<br>(進路指導)        | 生徒の主体性を育むキャリア教育を推進する               | 地域連携事業とキャリア教育の一体化  | 地域に開かれたキャリア教育の充実を図る   | インターンシップや行事等をとおして本校の目指す生徒像や育成方針について広報活動を行う  |
|                         |                                    | 体系的な進路指導の確立  | 高森高校版進路のしおり「Lynx」とキャリア・パスポートの活用を充実させる                                     | Lynxについては、各学年で運用するとともに、生徒の体験活動ごとにキャリア・パスポートを作成する  |
| 生徒指導                    | 自らの強みを活かし、集団を意識して「自律的」に行動できる力を育成する | 生徒心得（令和7年4月改定）の理解と、自律する態度の育成                               | 生徒たちによる生徒心得の啓発と実践   | 生徒会が中心となり生徒心得の遵守の啓発活動を行う。あわせて、生徒心得の見直しも行う   |
|                         |                                    | 「いのち」を守るための交通安全指導  | 交通事故・交通違反「0」を目指す。自転車通学者ヘルメット着用「100%」を目指す                                  | 本年度から自転車通学者ヘルメット着用義務化を設定し、警察などの外部機関と連携しながら、交通安全を啓発する  |
| 人権教育の推進                 | 命を大切にすることを育む指導の充実を図る               | 多様性を認め、自他を尊重し行動できる人権感覚の育成                                  | 文部科学省が推進するウェルビーイング（健康と幸福感）を取り入れ、生徒・職員・保護者が心身共に有用感を感じ、自尊感情が高まる取組を実践する      | ○職員が生徒へ「自分を語る」ことを目的とした、HR活動を実施する<br>○自他の大切さに気づき、自他を認め寄り添う取組として、自分の想いを綴る人権作文や人権レポートを生徒・職員全員で作成する |
| いじめの防止等                 | いじめを見逃さない、いじめを許さない態度を育成する          | 組織的ないじめの未然防止と早期発見  | いじめ防止基本方針を確認し、組織的な動きを意識しながら、いじめ防止を啓発する                                    | いじめ防止について学年・学科と連携しながら啓発を行う。問題発生時は、迅速に行動し、組織で対応し、問題の拡大を防ぎ、解決に向けた取組を行う                            |
| 地域連携<br>(コミュニティ・スクールなど) | 地域との連携強化による本校教育の特色化を図る             | 普通科グローバル探究コースとマンガ学科の教育の特色化（魅力化）の構築と、これまで築き上げてきた本校教育の良さの再発見 | ○高森町、コアミックス社、県教育委員会との四者での連携協定に基づいた魅力化を推進する<br>○普通科グローバル探究コースの魅力発信をさらに強化する | ○四者による本校の魅力化に向けた定期的な会議を開催する<br><br>○小中学生向け交流イベントを開催する<br>○総合的な探究の時間に係る成果報告会を実施する                |

|           |                |                                 |  |  |
|-----------|----------------|---------------------------------|--|--|
| 健康管理・安全管理 | 健康教育・保健教育を推進する | 生活習慣の形成と心身の健康に関する生徒自身の自己管理能力の育成 | 講演会の実施や生徒保健委員会の活動を通して、心身の健康の保持増進を図る  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○外部講師を活用した講演会を実施する</li> <li>○文化祭での発表や保健だよりの発行等保健委員会活動を充実させる</li> </ul>  |
|           | 環境教育と防災教育を推進する | 生徒・職員の安全に対する意識の高揚               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○4月のくまもと防災月間及び9月1日防災の日を機として、地域の特徴や季節に即した防災教育を充実させる</li> <li>○実用的な危機管理マニュアルの改訂作業に生徒及び職員の意見を取り入れ、全生徒と職員の防災意識を向上させる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○4月に全校生徒と全職員を対象とするAED講習会を消防署の指導の下実施する</li> <li>○1学期に防災避難訓練及び消火器使用訓練を実施する</li> <li>○2学期にシェイクアウト訓練を実施する</li> <li>○学校行事ごとの災害避難計画を改訂する</li> <li>○危機管理マニュアルの災害対応に関わる初期動作を整理し実用性を高める</li> </ul> |

※評価項目の数・内容については、各学校の実態に合わせ自由に設定してください。  
(複数枚になってもかまいませんが、重要度の高いものに絞り、項目を整理して記入してください。)